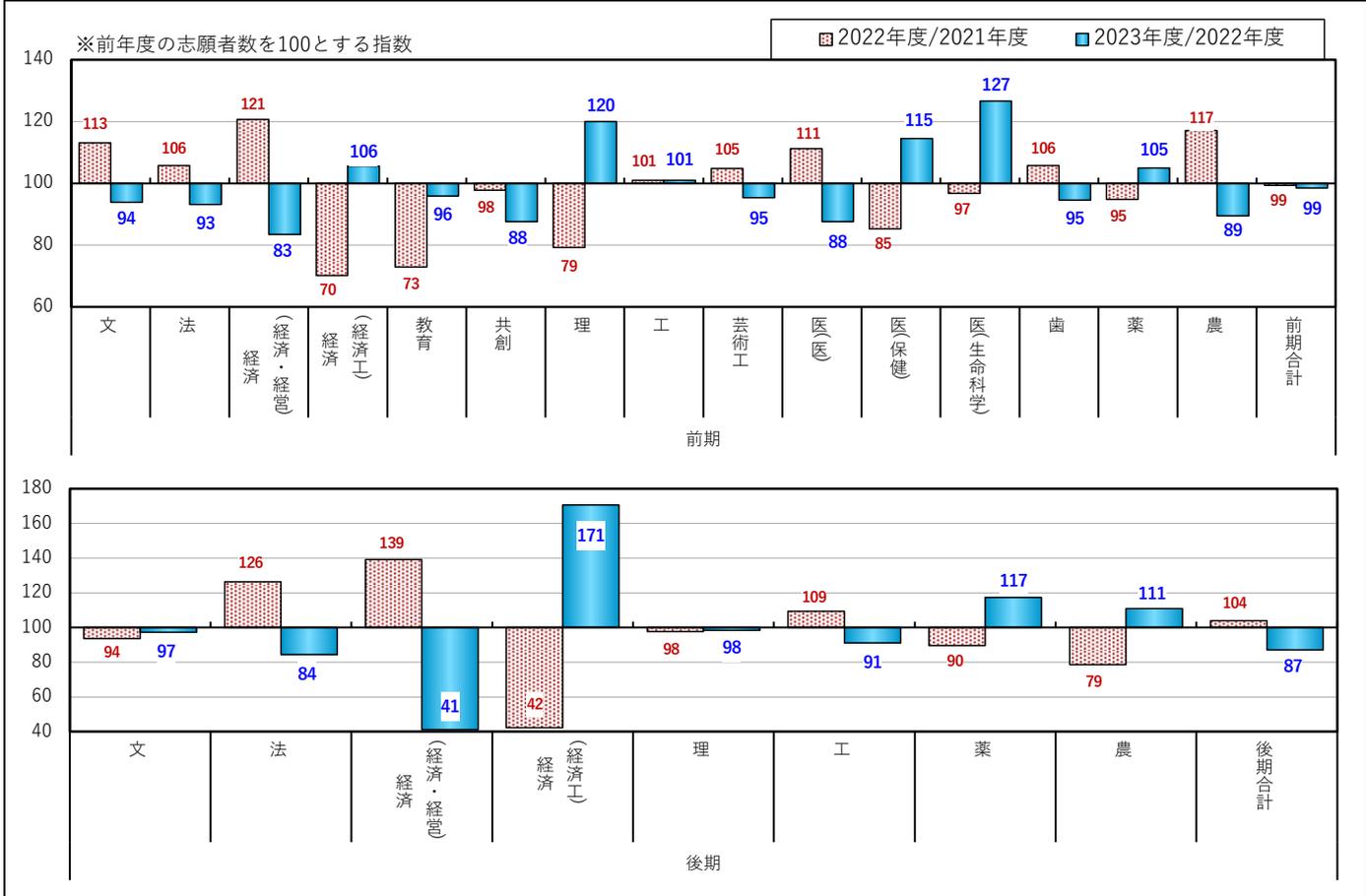


九州大：大学全体では前期は前年度並、後期は減少

前期：-76 人 後期：-331 人



**主な入試変更点**  
 募集人員：医(医)<前>…110人→105人  
 個別試験：農<前>…数+理2+外 ※理：(物 or 化 or 生 or 地学)→2  
 →数+理2+外 ※理：(物 or 化 or 生)→2 ※理科の選択から地学除外

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は76人(99)の前年度並、志願倍率は3年連続で2.6倍。文理別では、文系は129人(90)の減少、理系は53人(101)の微増で前年度並。後期は331人(87)の減少。文理別では、文系は338人(66)の大幅減少、志願者数は700人を下回り、募集人員が81人となった2021年度以降では最少。理系は7人(100)の微増で前年度並。

- <前期日程>
- 文(94)は、前年度増加の反動でやや減少。
  - 法(93)は、やや減少。2019年度以降は前年度の反動による増減が継続。
  - 経済(91)は、2年連続減少。学科別では、文系の(経済・経営)(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。理系の(経済工)(106)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。
  - 共創(88)は、前年度微減に引き続き2年連続減少。
  - 理(120)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
  - 工(101)は、前年度並。2021年度の改組後は、志願倍率は2.2倍が継続。
  - 芸術工(95)は、前年度やや増加の反動でやや減少。(学科一括)(103)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。コース別募集では、(芸術工/インダストリアルデザイン)(139)は大幅増加で2年連続増加、志願者数は2020年度の改組後最多。(芸術工/環境設計)(111)は前年度減少の反動で増加。一方で、(芸術工/未来構想デザイン)(42)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は2020年度の改組後最少。(芸術工/メディアデザイン)(72)も前年度大幅増加の反動で大幅減少、同じく志願者数は2020年度の改組後最少。
  - 医(医)(88)は、2年連続増加の反動と募集人員が5人(5%)減少したことで減少。
  - 医(保健)(115)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(保健/検査技術科学)(154)は前年度減少の反動で50%以上の大幅増加、(保健/看護学)(117)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(保健/放射線技術科学)(86)は2年連続増加の反動で減少。
  - 医(生命科学)(127)は、大幅増加で志願倍率も3年ぶりに3倍を上回った。
  - 歯(95)は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。
  - 薬(105)は、やや増加。学科別では、6年制の(臨床薬)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、4年制の(創薬科学)(97)は、系統への高い人気もあって、3年連続増加の反動は小さくやや減少に留まった。志願者数は3年連続100人を上回った。
  - 農(89)は、前年度大幅増加の反動で減少。

## &lt;後期日程&gt;

- 文(97)は、2年連続やや減少。志願倍率は7年ぶりに8倍を下回った。
- 法(84)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2017年度以降、反動による増減が継続。
- 経済(61)は、3年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、文系の(経済・経営)(41)は3年連続増加の反動で半減以下、志願倍率は8年ぶりに8倍を下回った。理系の(経済工)(171)は前年度半減以下の反動で激増。
- 理(98)は、2年連続微減。学科別では、(地球惑星科学)(117)の大幅増加、(化学)(82)の大幅減少が目立った。
- 工(91)は、2年連続増加の反動で減少。学科群別では、(V群)を除く5つの学科群での募集だが、全てで減少。(II群)(85)は大幅減少、志願倍率も8.6倍→7.3倍にダウン。(I群)(87)は減少、志願倍率も11.2倍→9.7倍にダウン。(IV群)、入学時に特定の学科または学科群を選択しない(VI群)はいずれも(93)のやや減少。(III群)(96)もやや減少。
- 薬(117)は、前年度減少の反動で大幅増加。2016年度以降、反動による増減が継続。学科別では、(創薬科学)(127)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(臨床薬)(109)は3年連続増加。
- 農(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。